

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぱびゅぱぼ		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 1日	～	令和8年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日	～	令和8年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容が充実させ、思いっきり楽しく過ごすことができる。	子どもたちに必要な支援などを職員同士で話し合いを行い、運動活動や室内活動などを取り入れています。また、活動内容も子どもたちが楽しんで参加できるように、遊びやゲームなどを取り入れていき、子どもたちが楽しんで活動参加できるように工夫しています。	子どもたちの意見を尊重し、やりたい活動などがあれば取り入れていきたい。また、子どもたちが楽しんで療育ができる様に、職員が研修などを受け知識・技術を学んで行きたい。 個別活動も取り入れていき、より子どもたちに寄り添った支援を行なっていきたい。
2	就労体験や体験学習などを通して将来のことを考えることができる。	夏休みなどの長期休み期間に、就労体験(A型・B型・一般のお弁当屋さんなど)の実施しています。特に、高校生の利用児を中して実習を行っており、将来に向けての取り組みを行なっています。また、公共交通機関の使い方などを体験し、自立に向けた取り組みも行なっています。	長期休み期間には、中・高校生を対象に実習などを取り入れていきたい。また、自分たちの会社だけでなく、他の就労事業所とのやりとりを行い、子どもたちに幅広く体験できる様にしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年に一度、保護者の交流会(研修)を開催しているが、参加する人数が少ない。	・交流会の内容が保護者のニーズに当てはまってない。 ・日程調整ができていない。 ・交流会の子どもを預ける先がない。	モニタリングを通して、親の悩みを把握し、今保護者にとって必要な情報は何かを見極める。また、今までは交流会開催月の1ヶ月前にお知らせをしており、すでに日程の調整ができない保護者もいるので、早めにお知らせできる様にしていきたい。 研修会を開催する際は、事業所で子どもたちを受け入れる体制作りを整えていきたい。
2	定期面談や子育てに関する助言ができていない。	・職員の子育て支援に対する知識にバラつきがある。 ・連絡のやり取りができていない保護者がいる。	定期的に療育や子育てに関する研修参加や情報収集を行い、知識を深めていく。 モニタリングや日々の連絡帳システムなどをうまく活用して、保護者が何に対して悩んでいるのかを把握、どのように助言すればよいか専門的知識を持っている職員に相談する。
3	地域の人や子どもたちとの関わりが少ない。	・児童館での活動を継続して取り組むことができなかった。 ・公園などで遊ぶが、地域の子どもたちと「一緒に遊ぼう」と声掛けを行うことが難しかった。	定期的に児童館活動などを取り入れていき、地域の子どもたちと関わり合う環境づくりを整えていきたい。また、地域での活動などに参加して、子どもたちのこと地域の方に知ってもらい機会づくりを行う。現在、クリーン活動を通して、少しずつ地域の方に感謝されることや認知して貰うことが増えてきているので、継続して取り組んでいきたい。